

村長から村民の皆さまへのお願い

県内では「新型コロナウイルス感染症」の新規感染者が著しく増加しておらず、感染拡大が抑えられている状況です。

しかしながら、東京都においては、1日当たり200人を超える感染者が連日確認されております。

こうした全国の感染状況等を踏まえ、村民の皆さまには感染防止の取組を引き続きお願いをいたします。

— 村民の皆さまへ —

- 発熱等の症状がある場合は、都道府県をまたぐ移動や外出を控える。
- 県外との往来は、移動先の感染状況を十分に確認し、「3密」となるような場所や感染防止対策が確認されていない施設等はできるだけ避け、マスク着用等の感染防止対策を徹底し、慎重な行動をする。
- 熱中症を防ぐために、人と十分な距離をとってマスクを外す。
- 感染リスクの高い地域に移動する場合や、そうした地域から御家族が帰省される場合には、移動後2週間の行動歴を記録や（スマートフォンの）接触確認アプリの活用など、感染拡大の危険性を最小限にする。

- 咳エチケットや手洗いを始めとする基本的な感染症対策の徹底
- 三つの密「換気の悪い密閉空間」、「大勢いる密集場所」、「間近で会話する密接場面」を避け、基本的な感染対策を継続するなど、「新しい生活様式（裏面参照）」を実践する。
- 発熱や咳など少しでも症状があれば外出は控える。症状が続けばまず「帰国者・接触者相談センター（☎0120-567-747）」に相談する。
- 懸命に対応いただいている医療関係者をはじめ、新型コロナウイルス感染症の陽性となった方やその関係者に対する差別や偏見はしない。

令和2年7月15日

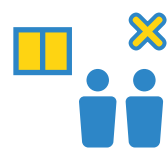
湯川村新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 三澤 豊隆

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

の定着に、ご協力をお願いします。



密閉は避ける



密集は避ける



密接は避ける



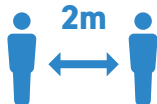
正面は避ける



移動先の
感染状況に注意



こまめに換気



距離を取る



(状況に応じて)
マスクの着用



咳エチケット



手洗い・
手指衛生



出かける前に
体温測定



熱や風邪の症状が
ある場合は外出しない



誰とどこで
会ったかメモ



オンライン活用
(通販やテレビ会議)



買い物は
少人数で



電子決済の利用



テイクアウトや
デリバリー活用



料理は
個別の皿に



会話は控えめに



テレワーク
(在宅勤務)



時差通勤



自転車や
徒歩での移動

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのため、私たち一人一人がこれまでの日常生活の行動を変え、上記実践例を参考に「新しい生活様式」を定着させていくことが大切です。

 福島県

新しい生活様式 福島県 | 

